



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場会社名 株式会社 ゲオホールディングス
コード番号 2681 URL <http://www.geonet.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 結蔵

問合せ先責任者 (役職名) 情報管理部 ゼネラルマネージャー (氏名) 三谷 康生

TEL 052-350-5711

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日 配当支払開始予定日

平成26年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	124,932	2.2	2,542	△52.4	2,769	△50.0	2,883	1.2
26年3月期第2四半期	122,256	1.9	5,342	△29.0	5,539	△25.4	2,850	△11.7

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 2,819百万円 (△3.2%) 26年3月期第2四半期 2,913百万円 (16.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	53.46	53.39
26年3月期第2四半期	52.78	52.70

当社は平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	121,509	60,714	49.8
26年3月期	115,581	59,199	51.1

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 60,520百万円 26年3月期 59,027百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	1,600.00	—	16.00	—
27年3月期	—	16.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。平成26年3月期の期末配当金につきましては、当該株式分割を考慮した額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の年間配当金は、3,200円00銭(第2四半期末1,600円00銭、期末1,600円00銭)となります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	2.9	6,500	△29.3	7,000	△25.1	4,400	15.5	81.57

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
除外 1社 (社名) 株式会社ウェアハウス
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	54,382,800 株	26年3月期	54,382,800 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	869,600 株	26年3月期	386,300 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	53,938,450 株	26年3月期2Q	53,996,500 株

当社は平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	当期間の当初 業績予想(百万円)	当期間の実績 (百万円)	業績予想比 (%)	前年同期比 (%)
売上高	125,200	124,932	99.8	102.2
営業利益	2,200	2,542	115.6	47.6
経常利益	2,450	2,769	113.1	50.0
四半期純利益	2,300	2,883	125.4	101.2

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、増収となり、同期間で過去最高の売上をあげることができました。順調にリユースショップが拡大したことに加え、オリジナル格安SIMの販売開始に併せて新品及び中古携帯通信端末(モバイル)の取扱高が増大し、また、メディアショップにおいては新品ゲームソフトのヒット作に恵まれ売上の増加に貢献しております。

しかしながら、営業利益・経常利益については減益となりました。その要因としては、人件費をはじめとする販売管理費の増加を、利益率の高いレンタルの不調により、まかないきれなかったことが挙げられます。

なお、四半期純利益につきましては、当期間に行った子会社再編の結果、法人税等調整額が発生し、増益となっております。

出店につきましては、DVD・CD・ゲームなどのメディア商材を主に取り扱うメディア系「ゲオショップ」の統廃合、リユース系「ジャンプストア」「セカンドストリート」26店舗の新規出店に加え、顧客提案型大規模融合店「スーパーセカンドストリート」、総合モバイル専門店「Smart & Collection」の開発など、業態開発戦略を着実に実行した結果、以下のとおりの店舗・施設数となりました。

()内は、前連結会計年度末との増減数であります。

	直営店	代理店	F C店	合計
ゲオグループ店舗施設数	1,410 (+24)	97 (△2)	129 (+6)	1,636 (+28)
メディア系	1,017 (+16)	97 (△2)	89 (+5)	1,203 (+19)
融合系	93 (+2)			93 (+2)
リユース系	262 (+24)		40 (+1)	302 (+25)
ファミリーブック(改装前)	20 (△23)			20 (△23)
ウェアハウス	11 (0)			11 (0)
その他	7 (+5)			7 (+5)

- (注) 1. メディア系ではDVDレンタルや家庭用ゲームの販売買取を行う店舗をカウントしています。
 2. リユース系では衣料品や家電製品等の販売買取を行う店舗をカウントしています。
 3. 同一施設内において複数の屋号で営業している場合は併せて1店舗とし、融合系としてカウントしています。
 4. 直営店舗とF C店舗が併設して融合系となっている場合、F C店はカウントしていません。

(主要商材別の状況)

① レンタル

7月にレンタルが開始されました「アナと雪の女王」は過去最高の貸出数を記録したものの、それ以外の新作タイトルが前年に及ばず、売上高は415億41百万円(前年同期比98.3%)となりました。

② メディア系リユース

中古モバイルを多くの店舗で取扱商材に加えたこともあり、売上高は236億29百万円(前年同期比106.8%)となりました。

③ リユース系リユース

新規出店による店舗数の増加に加え、既存店においても6ヶ月連続で前年を上回り、売上高は148億6百万円(前年同期比112.8%)となりました。

④ 新品

専門店での取扱いに加え新品モバイルをメディアショップ・リユースショップにおいても展開する一方、メディアショップにおいては新品ゲームソフトのタイトルにも恵まれました。また、ファミリーブック店舗をはじめとする書籍取扱店の増加も寄与し、売上高は324億62百万円(前年同期比121.7%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期末における総資産は121,509百万円となり、前連結会計年度末比5,928百万円の増加となりました。

なお、純資産は60,714百万円となり、自己資本比率は49.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ5,130百万円増加し、26,929百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、増加した資金は6,013百万円(前年同四半期は7,501百万円の増加)となりました。

これは、レンタル用資産取得による支出が6,931百万円ありましたが、レンタル用資産減価償却費が6,956百万円と減価償却費が2,498百万円、税金等調整前四半期純利益が2,141百万円ありましたがが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、減少した資金は4,726百万円(前年同四半期は3,241百万円の減少)となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出が4,918百万円ありましたがが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、増加した資金は3,843百万円(前年同四半期は1,733百万円の減少)となりました。

これは、長期借入金の返済による支出が4,311百万円と配当金の支払額が864百万円、自己株式の取得による支出が461百万円ありましたが、長期借入による収入が10,000百万円ありましたがが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月9日に公表いたしました通期業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、連結子会社でありました株式会社ウェアハウスについては、平成26年4月1日付で連結子会社である株式会社ゲオに吸収合併したことにより、連結の範囲から除外しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,869	25,326
売掛金	3,992	3,501
商品	23,495	24,387
その他	7,715	7,625
貸倒引当金	△343	△342
流動資産合計	54,729	60,499
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,501	13,865
その他(純額)	21,703	21,932
有形固定資産合計	35,205	35,797
無形固定資産	2,028	1,500
投資その他の資産		
敷金及び保証金	15,034	15,104
その他	12,500	12,470
貸倒引当金	△3,917	△3,862
投資その他の資産合計	23,617	23,712
固定資産合計	60,851	61,010
資産合計	115,581	121,509
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,124	13,574
1年内返済予定の長期借入金	8,754	8,112
賞与引当金	1,135	1,294
その他	11,699	10,226
流動負債合計	34,713	33,208
固定負債		
長期借入金	13,910	20,240
資産除去債務	3,898	3,899
その他	3,858	3,446
固定負債合計	21,668	27,586
負債合計	56,381	60,795

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,603	8,603
資本剰余金	6,078	6,078
利益剰余金	44,381	46,401
自己株式	△334	△796
株主資本合計	58,729	60,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	297	233
その他の包括利益累計額合計	297	233
新株予約権	172	194
純資産合計	59,199	60,714
負債純資産合計	115,581	121,509

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	122,256	124,932
売上原価	67,465	70,697
売上総利益	54,791	54,235
販売費及び一般管理費	49,448	51,692
営業利益	5,342	2,542
営業外収益		
不動産賃貸料	603	580
その他	272	391
営業外収益合計	875	971
営業外費用		
不動産賃貸費用	294	301
その他	385	442
営業外費用合計	679	744
経常利益	5,539	2,769
特別利益		
負ののれん発生益	203	-
特別利益合計	203	-
特別損失		
減損損失	612	628
その他	25	-
特別損失合計	637	628
税金等調整前四半期純利益	5,104	2,141
法人税、住民税及び事業税	2,874	523
法人税等調整額	△559	△1,266
法人税等合計	2,315	△742
少数株主損益調整前四半期純利益	2,789	2,883
少数株主損失(△)	△60	-
四半期純利益	2,850	2,883

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,789	2,883
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	124	△64
その他の包括利益合計	124	△64
四半期包括利益	2,913	2,819
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,970	2,819
少数株主に係る四半期包括利益	△57	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,104	2,141
減価償却費	2,565	2,498
レンタル用資産減価償却費	6,383	6,956
減損損失	612	628
負ののれん発生益	△203	-
受取利息及び受取配当金	△62	△65
支払利息	188	112
売上債権の増減額 (△は増加)	774	490
たな卸資産の増減額 (△は増加)	958	△736
レンタル用資産取得による支出	△5,915	△6,931
未払消費税等の増減額 (△は減少)	59	1,238
その他	1,113	952
小計	11,579	7,285
利息及び配当金の受取額	53	56
利息の支払額	△199	△112
法人税等の支払額	△3,931	△1,216
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,501	6,013
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,682	△4,918
その他	△558	192
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,241	△4,726
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	13,500	12,300
短期借入金の返済による支出	△13,630	△12,300
長期借入れによる収入	6,300	10,000
長期借入金の返済による支出	△5,911	△4,311
社債の発行による収入	1,161	-
社債の償還による支出	△1,256	△174
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,025	△344
自己株式の取得による支出	-	△461
配当金の支払額	△864	△864
その他	△6	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,733	3,843
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,526	5,130
現金及び現金同等物の期首残高	26,735	21,799
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,261	26,929

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

当社グループは前第3四半期連結累計期間まで小売サービス事業とアミューズメント事業の2事業を報告セグメントとしておりましたが、前第4四半期連結会計期間においてアミューズメント事業を営む連結子会社である株式会社ゲオディノスの保有株式を売却したことによりアミューズメント事業の重要性がなくなったため、記載を省略しております。